

令和7年度SSH特別課外活動 「米国研修」

研修報告用ノート

(メモ 提出時には消去する)

過去のものは teams の事前研修等のチャンネルに PDF ファイルがありますので、参考にしてください。

この資料のデータも上記と同じところに入れておきましたので、各自ダウンロードして使ってください。

研修終了後、●/● (●) までに、teams の所定の提出場所に提出すること。

2年 (●) 組 (●) 番 氏名 (●● ●●)

1 事前研修自己評価

米国研修では、下記4つの力の向上を目的としています。

事前研修（科学三昧、EC研修、出前講座、博物館研修 発表原稿作成、課題研究 ポスター作成・発表練習等）を通して、下記に示した4つの力が現時点でどの程度あると考えられますか？

それぞれについてあてはまるものに✓をつけてください。

岡高キーコンピテンシー	ミニマムサクセス	フルサクセス	エクストラサクセス
「文章表現力」 事前研修で作成した発表原稿、 ポスターの文章表現など	☐ 原稿を作ることができる。	☐ 要点をおさえて 原稿を作ることができる。	☐ 論理立てて原稿を構成し、 要点をおさえて原稿を作ることができる。
「プレゼンテーション力」 プレゼンテーションの方法、 発表の口調や仕草など	☐ 発表することができる。	☐ 相手の様子を確認しながら発表することができる。	☐ 発表方法を工夫し、 相手の様子を確認しながら発表することができる。
「英語コミュニケーション力」 英語による積極的な質問、 現地の方との英語での交流など	☐ 英語を聞き取って理解することができる。	☐ 英語を聞き取って理解し、 英語で質問することができる。	☐ 英語を聞き取って理解し、 自分の考えを英語で相手に伝えることができる。
「課題発見力」 研究内容やプレゼンテーション方法 などに関する新たな視点や課題の発見	☐ 反省点をまとめることができる。	☐ 反省点をまとめ、 改善方法をみつけることができる。	☐ 反省点をまとめ、 改善方法を次の発表に活かすことができる。

2 3/5(木)AM ハーバード・スミソニアン天体物理センター 津名大地 (Tsunadaichi) 先生

(1) 予習+研究施設見学で学んだこと

(メモ 提出時には消去する)

講師より事前に研究概要の資料を提供して頂き、事前学習をした上で、英語で講義をうける。学んだことを書けるように、メモを取りながら講義をきこう。

また実際に研究が行われている施設や機材・実験環境などを見学する (案内も英語で受ける)。

(2) 感想

(3) ルーブリック

岡高キーコンピテンシー	ミニマムサクセス	フルサクセス	エクストラサクセス
「知識を統合する力」 既習事項との 今後の学習へ	☐ 新しい知識を得る	☐ 新たに得た知識し	☐ 新たに得た知識と既習 関連性を理解 の学習への一 方針を立てる ことができた。
(メモ 提出時には消去する) 研修後に自己評価する。エクストラサクセスを目指そう。			

3 3/5(木)PM MITミュージアム

(1) 博物館見学で学んだこと

(メモ 提出時には消去する)

博物館内を見学し、学校で学んだ知識（分野は問わない）と関連した内容を各自発見して研修ノートにまとめる。展示物等を一通り見学した後、1つの展示物を選択し、選択した展示物付近にてまとめた内容に関して1名ずつ英語によるプレゼンテーション（5分程度）を行い、意見交換を行う。

プレゼンテーション内容は「①選択した展示物の概略」、「②選択した展示物と学校での学習内容の関連性」、「③展示物の革新的な部分（学校で学習した内容がどのように発展しているか）」である。

(2) 感想

(3) ルーブリック

岡高キーコンピテンシー	ミニマムサクセス	フルサクセス	エクストラサクセス
「知識を統合する力」 既習事項との関連 今後の学習への活	☐ 新しい知識を得る	☐ 新たに得た知識と	☐ 新たに得た知識と既習 性を理解 習への一 を立てる
(メモ 提出時には消去する) 研修後に自己評価する。エクストラサクセスを目指そう。			
			ことかできた。

4 3/6(金)AM ハーバード大学 足立雄一郎 (Adachi Yuichiro) 先生

(1) 予習+大学見学で学んだこと

(メモ 提出時には消去する)

講師より事前に研究概要の資料を提供して頂き、事前学習をした上で、英語で講義をうける。学んだことを書けるように、メモを取りながら講義をきこう。

また実際に研究が行われている施設や機材・実験環境などを見学する (案内も英語で受ける)。

(2) 感想

(3) ルーブリック

岡高キーコンピテンシー	ミニマムサクセス	フルサクセス	エクストラサクセス
「知識を統合する力」 既習事項との関連性や 今後の学習への活用等	☐ 新しい知識を得ることができた。	☐ 新たに得た知識と既習事項との関連性を理解することができた。	☐ 新たに得た知識と既習事項との関連性を理解し、今度の学習への一助とする方針を立てることができた。

5 3/6(金)PM MIT 本多隆利 (Honda Takato) 先生

(1) 予習＋研究室訪問で学んだこと

(メモ 提出時には消去する)

講師より事前に研究概要の資料を提供して頂き、事前学習をした上で、英語で講義をうける。学んだことを書けるように、メモを取りながら講義をきこう。

また実際に研究が行われている施設や機材・実験環境などを見学する (案内も英語で受ける)。

(2) 感想

(3) ルーブリック

岡高キーコンピテンシー	ミニマムサクセス	フルサクセス	エクストラサクセス
「知識を統合する力」 既習事項との関連性や 今後の学習への活用等	☐ 新しい知識を得ることができた。	☐ 新たに得た知識と既習事項との関連性を理解することができた。	☐ 新たに得た知識と既習事項との関連性を理解し、今度の学習への一助とする方針を立てることができた。

6 3/7(土)PM 国立アメリカ歴史博物館

(1) 発表原稿（文字サイズ・行間の調整も可。）

（メモ 提出時には消去する）

Hayfield Secondary School の生徒・教員と共にスミソニアン博物館群（国立アメリカ歴史博物館）の見学を行い、英語でコミュニケーションを図りながら展示物に関する理解を深める。展示物等を一通り見学した後、事前に選択した展示物付近で Hayfield Secondary School の生徒・教員に対して英語でプレゼンテーションを行い、意見交換する。（5分程度）

プレゼンテーション内容は「①選択した展示物の概略」、「②科学技術（科学者）が展示物に与えた影響」、「③科学者が果たすべき役割・責任」である。特に③の項目に関しては、現地見学で「選択した展示物」・「その他の関連展示物」について学ぶ中で深めた視点もプレゼンテーションに組み込めるようにする。

（メモ 提出時には消去する）

研修前に発表の準備をする。

(2) 発表の反省・改善点など

(3) 博物館見学で学んだこと

(4) 感想

(5) ルーブリック

岡高キーコンピテンシー	ミニマムサクセス	フルサクセス	エクストラサクセス
「 文章表現力 」 事前に作成した発表原稿	☐ 原稿を作ることができた。	☐ 要点をおさえて原稿を作ることができた。	☐ 論理立てて原稿を構成し、要点をおさえて原稿を作ることができた。
「 プレゼンテーション力 」 プレゼンテーションの方法、発表の口調や仕草など	☐ 発表することができた。	☐ 相手の様子を確認しながら発表することができた。	☐ 発表方法を工夫し、相手の様子を確認しながら発表することができた。
「 英語コミュニケーション力 」 英語による積極的な質問、現地の方との英語での交流など	☐ 英語を聞き取って理解することができた。	☐ 英語を聞き取って理解し、英語で質問することができた。	☐ 英語を聞き取って理解し、自分の考えを英語で相手に伝えることができた。
「 課題発見力 」 見学にて学んだことやプレゼン方法などに関する新たな視点や課題の発見	☐ 反省点をまとめることができた。	☐ 反省点をまとめ、改善方法をみつけることができた。	☐ 反省点をまとめ、改善方法を次の発表に活かすことができた。

7 3/8(日) スミソニアン博物館群

(1) 発表原稿（文字サイズ・行間の調整も可。）

（メモ 提出時には消去する）

Hayfield Secondary School の生徒と共にスミソニアン博物館群（国立自然史博物館・国立航空宇宙博物館）の見学を行い、英語でコミュニケーションを図りながら展示物に関する理解を深める。また、「A：日本に関連する展示物」または「B：複数の分野の技術が組み合わされている展示物」に関して事前学習をした上で研修に臨み、館内の展示物を一通り見学した後、事前に選択した展示物付近で Hayfield Secondary School の生徒・教員に対して英語でプレゼンテーションを行い、意見交換をする。（5 分程度）

プレゼンテーション内容は、「A」の展示物を選択した生徒は「①日本に関連する展示物の概略」、「②展示物の革新的な部分（どうして革新的なのか）」、「③展示物と海外の関係」である。「B」の展示物を選択した生徒は「①展示物の概略」、「②どのような分野の技術が組み合わされた展示物か」、「③展示物の革新的な部分（どうして革新的なのか）」である。

展示物は、国立自然史博物館・国立航空宇宙博物館のどちらか選択

（メモ 提出時には消去する）

研修前に発表の準備をする。

(2) 発表の反省・改善点など

(3) 博物館見学で学んだこと

(4) 感想

(5) ルーブリック

岡高キーコンピテンシー	ミニマムサクセス	フルサクセス	エクストラサクセス
「 文章表現力 」 事前に作成した発表原稿	☐ 原稿を作ることができた。	☐ 要点をおさえて原稿を作ることができた。	☐ 論理立てて原稿を構成し、要点をおさえて原稿を作ることができた。
「 プレゼンテーション力 」 プレゼンテーションの方法、発表の口調や仕草など	☐ 発表することができた。	☐ 相手の様子を確認しながら発表することができた。	☐ 発表方法を工夫し、相手の様子を確認しながら発表することができた。
「 英語コミュニケーション力 」 英語による積極的な質問、現地の方との英語での交流など	☐ 英語を聞き取って理解することができた。	☐ 英語を聞き取って理解し、英語で質問することができた。	☐ 英語を聞き取って理解し、自分の考えを英語で相手に伝えることができた。
「 課題発見力 」 見学にて学んだことやプレゼン方法などに関する新たな視点や課題の発見	☐ 反省点をまとめることができた。	☐ 反省点をまとめ、改善方法をみつけることができた。	☐ 反省点をまとめ、改善方法を次の発表に活かすことができた。

8 3/9(月) Hayfield Secondary School 授業参加

(1) 授業で学んだこと (Period ごとに書くこと。)

Pd 1.

(メモ 提出時には消去する)

Pd 3.

後日、受けた授業について、アンケートを回答してもらいます。
それにより、授業が決まりますので、学んだことを研修後を書く。

Pd 5.

Pd 7.

(2) 感想

9 3/9(月) Hayfield Secondary School 課題研究発表

(1) ポスター・原稿作成や、発表・質疑対応に関する反省・改善点

(メモ 提出時には消去する)

研修後を書く。

(2) 研究内容に関する反省・改善点

(3) 感想

(4) ルーブリック

岡高キーコンピテンシー	ミニマムサクセス	フルサクセス	エクストラサクセス
「 文章表現力 」 事前に作成した発表原稿、 ポスターの文章表現など	☐ 原稿を作ることができた。	☐ 要点をおさえて原稿を作ることができた。	☐ 論理立てて原稿を構成し、要点をおさえて原稿を作ることができた。
「 プレゼンテーション力 」 プレゼンテーションの方法、 発表の口調や仕草など	☐ 発表することができた。	☐ 相手の様子を確認しながら発表することができた。	☐ 発表方法を工夫し、相手の様子を確認しながら発表することができた。
「 英語コミュニケーション力 」 英語による積極的な質問、 現地の方との英語での交流など	☐ 英語を聞き取って理解することができた。	☐ 英語を聞き取って理解し、英語で質問することができた。	☐ 英語を聞き取って理解し、自分の考えを英語で相手に伝えることができた。
「 課題発見力 」 研究内容やプレゼンテーション方法 などに関する新たな視点や課題の発見	☐ 反省点をまとめることができた。	☐ 反省点をまとめ、改善方法をみつけることができた。	☐ 反省点をまとめ、改善方法を次の発表に活かすことができた。

10 事後研修自己評価

(1) 米国研修全体（研究室訪問、博物館研修、課題研究発表）を通して、下記に示した5つの力ほどの程度達成されたと考えますか？それぞれについてあてはまるものに✓をつけてください。

岡高キーコンピテンシー	ミニマムサクセス	フルサクセス	エクストラサクセス
「知識を統合する力」 既習事項との関連性や 今後の学習への活用等	☐ 新しい知識を得ることができた。	☐ 新たに得た知識と既習事項との関連性を理解することができた。	☐ 新たに得た知識と既習事項との関連性を理解し、今度の学習への一助とする方針を立てることができた。
「文章表現力」 事前に作成した発表原稿、 ポスターの文章表現など	☐ 原稿を作ることができた。	☐ 要点をおさえて原稿を作ることができた。	☐ 論理立てて原稿を構成し、要点をおさえて作ることができた。
「プレゼンテーション力」 プレゼンテーションの方法、 発表の口調や仕草など	☐ 発表することができた。	☐ 発表することができた。	☐ 発表方法を工夫し、聴衆の反応を確認しながら発表することができた。
「英語コミュニケーション力」 英語による積極的な質問、 現地の方との英語での交流など	☐ 英語を聞き取って理解することができた。	☐ 英語を聞き取って理解し、英語で質問することができた。	☐ 英語を聞き取って理解し、自分の考えを英語で相手に伝えることができた。
「課題発見力」 研究内容やプレゼンテーション方法 などに関する新たな視点や課題の発見	☐ 反省点をまとめることができた。	☐ 反省点をまとめ、改善方法をみつけることができた。	☐ 反省点をまとめ、改善方法を次回の発表に活かすことができた。

(メモ 提出時には消去する)
渡米後に評価する。

(2) 米国研修を通し、『科学者が果たすべき役割や責任』についてどのように考えるようになりましたか。

(3) 米国研修全体を通して、学んだこと、成長した点を自由にご書いてください。

